

文 献 紹 介

- 仲田元亮著：能勢の昆虫 I (B5, 405 P., 自刊, 1978・12)。

本書は著者仲田元亮氏が住んでおられる川西市を中心に所謂能勢地域(従つて大阪府・兵庫県両方にまたがる)で約12年間に採集調査を続けられた結果の内甲虫・蝶・半翅目のものをまとめて目録にされたもので甲虫が85科1035種, 蝶が78種, 半翅目が105種記録されている。長期間の採集データが記してあるので種の消長がわかり大変貴重である。たゞこゝまで発表して頂けるのであれば採集頭数も示して頂ければより一層種の消長もはつきりするのにと惜しまれる。甲虫にのみ就いて見れば兵庫県から記録されているのが82科876種あり、今回新に兵庫県産として始めて記録されたと思われるものが3科37種もある。夜間採集、電燈、ライトトラップの方法で割合採集もされているし珍しい種も得ておられる。従つて一つの地域のファウナ調査に長期間実施すると共に之等の方法による調査はどうしても不可欠であると云うことが良くわかる。何はともあれこの様な報告をまとめて発刊された著者に敬意を表すと共に兵庫県産甲虫に関する貴重な文献としてこゝに紹介しておく。引続き調査を続けておられ第2報を発刊される迄追加、訂正等は逐次御発表になられると思われる(本誌にも追加篇が発表されている)。

- 高橋 匡著：豊岡高等学校昆虫標本目録(第5報)。豊岡高等学校生物教室刊, (B5, 14 P., 1978・12)。

昭和52・53年度における但馬地区での調査記録である。第5報として139種が記録された。鞘翅目についてのみながめてみると52種が記録されているがその内11種は兵庫県からは始めての記録である。1975年に第1報を発表されて以来この第5報迄で1669種の但馬地区での昆虫の記録をまとめられている。この地区での昆虫相を知る上にも欠くことの出来ない貴重な文献であると共に兵庫県の昆虫相を知る上の重要な文献の一つである。同定に就いては専門家によるものも多く内容を一層充実されている。(以上、高橋)。